

発行日：2017年11月14日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名称：TKパウダー

製品番号(SDS NO)：SDS00120-2

製品種類：鉱物繊維増粘剤

供給者情報詳細

供給者：AGCポリマー建材株式会社

住所：東京都中央区日本橋人形町1-3-8

電話番号：03-6667-8421

FAX：03-6667-8431

作成担当部門：品質管理グループ

緊急連絡先：AGCポリマー建材株式会社

電話番号：03-6667-8421

問い合わせ先：研究開発部

電話番号：0480-22-6300

FAX：0480-25-4012

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

(注)記載なきGHS分類区分：該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

GHSラベル要素

絵表示なし

注意喚起語なし

3. 組成及び成分情報

混合物/単一化学物質の選択：

混合物

成分名	含有量(%)	CAS No.	化審法番号
炭酸カルシウム	50 - 60	471-34-1	1-122
セピオライト(含水珪酸マグネシウム)	40 - 50	15501-74-3	-

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、温かく安静にする。

呼吸が停止しているときは人工呼吸を行う。

呼吸困難の時は酸素吸入を行う。

嘔吐物は飲み込ませないようにする。

直ちに医師の手当て/診断を受ける。

皮膚(又は髪)に付着した場合

付着物を布にて素早く拭き取る。

大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。

外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。

眼に入った場合

直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

まぶたの裏まで完全に洗うこと。
直ちに医師の手当て/診断を受ける。

飲み込んだ場合

安静にして直ちに医師の診断を受けること。
嘔吐物は飲み込ませないこと。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

応急措置をする者の保護

救助者は適切な保護具(保護メガネ、防護マスク、手袋等)を着用する。
適切な換気を行う。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

このもの自体は不燃物質であり、製品による火災は起こり得ない。ただし、主剤及び硬化剤と混合された混合物は可燃性を有する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
回収が終わるまで十分な換気を行う。
風上から作業し、風下の人を退避させる。

環境に対する注意事項

河川への排出等により、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

飛散した粉末は掃除機等で吸い取り回収する。
付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。

二次災害の防止策

知見なし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

皮膚、粘膜、または着衣に触れたり、目に入らぬよう保護具を着用する。
密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業すること。
取扱いは換気の良い場所で行い、容器はその都度密栓すること。
取扱い後は手・顔等は良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。
休憩所には、手洗い、洗眼などの設備を設け、取扱い後に手・顔等を良く洗う。
過去に、アレルギー症状を経験している人は取り扱わないこと。

注意事項

製品を運搬または貯蔵する時は、容器に破損のないことを確認する。
製品を長期に亘って貯蔵し、或いは製品を取り出し混合する等の作業を行う場合は地下浸透や汚染等を防止するため、シート等を敷いて行う。

安全取扱注意事項

本来の用途以外に使用しないこと。
容器はその都度密栓する。
屋外または換気の良い場所で取り扱う。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/顔面保護具/呼吸用保護具を着用する。(詳細は第8章「ばく露防止及び保護措置」の保護具の項を参照。)

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

国際/国/地方の規則に従って保管すること。

40℃以下の一定の場所を定めて保管する。

子供の手の届かないところに保管する。

製品を長期に亘って貯蔵し、或いは製品を取り出し混合する等の作業を行う場合は地下浸透や汚染等を防止するため、シート等を敷いて行う。

長期間の貯蔵には定期的な点検も必要となる。

容器を密閉し、直射日光や雨水を避け換気の良い冷暗所に保管する。

直射日光や雨水を避け、通風の良い冷暗所に保管する。

よくフタをし、40℃以下の一定の場所を定めて貯蔵する。

避けるべき保管条件

火気、熱源から遠ざけて保管する。

配合禁忌

指定材料以外と混合してはならない。

容器包装材料

消防法及び国連輸送法規などで規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度データなし

許容濃度

日本産衛学会関連許容濃度データなし

ACGIH 許容濃度データなし

ばく露防止

設備対策

屋内塗装作業の場合は、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備にすること。

洗眼、手洗い、洗顔設備を設ける。

屋内作業の場合は、粉塵濃度が高くならないように排気装置等を備えること。

多量に取扱う場合は集塵機を設置すること。

保護具

呼吸用保護具

粉塵やフライが直接人体に触れないように適切な保護マスク(防塵マスクなど)を着用する。

手の保護具

有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡／安全ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護服(長袖作業着)、安全靴

取り扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状態

形状：固体

色：白色

臭い：無臭

物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲

融点/凝固点：知見なし

分解温度：知見なし

引火点：知見なし

自然発火温度：知見なし

爆発特性：知見なし

蒸気圧：知見なし

蒸気密度：知見なし

比重/密度: 2.5

溶解度

水に対する溶解度：不溶

n-オクタノール／水分配係数：知見なし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

常温常圧では安定である。

危険有害反応可能性

知見なし

避けるべき条件

直射日光、炎、火花、加熱、高温を避ける。

混触危険物質

知見なし

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性データなし

局所効果データなし

感作性データなし

生殖細胞変異原性データなし

発がん性

(セピオライト(含水珪酸マグネシウム))

IARC-Gr.3：ヒトに対する発がん性については分類できない

催奇形性データなし

生殖毒性データなし

特定標的臓器毒性(単回/反復 ばく露)データなし

吸引性呼吸器有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性データなし

水溶解度

(炭酸カルシウム)

非常に溶けにくい (14 mg/l, 25 C) (ICSC, 2012)

残留性・分解性データなし

生体蓄積性データなし
土壌中の移動性データなし
オゾン層破壊物質データなし
その他情報

※漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与える恐れがあるので取扱に注意する。特に、製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約(マニフェスト)をして処理する。

容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。

廃水処理等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。

汚染容器及び包装

許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

空容器は内容物を完全に除去してから処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号に該当しない

特別の安全対策

容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

「取扱いおよび保管上の注意」の項の記載に従うこと。

直射日光、雨に暴露されないように運搬する。

消防法、船舶安全法等の法令に定める所に従う。

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法に該当しない。

化学物質排出把握管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法に該当しない。

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 19th edit., 2015 UN

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)

2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)

2017 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 (2012年)

原材料/製品メーカーSDS

国際化学物質安全性カード(ICSC)日本語版

化学工業日報社編集「16112の化学商品」

海天堂「危険物船舶運送及び貯蔵規則15訂版」

独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE) <http://www.nite.go.jp/>

責任の限定について

すべての化学品には未知の有害性がありうる為、取扱いには細心の注意が必要です。

この情報はこの特定の材料に関するものであり、この材料が他の材料と組み合わせられたり、処理されたときは無効です。この情報を自分自身の独特な取扱いに適合させ完全で満足できるものとする責任はユーザーにあります。

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

安全データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。